

様

地球温暖化にブレーキをかける要望書を読んでもいただきありがとうございました。環境問題は政治課題であり、その解決に努めることは地球に生きる人類の義務だと思います。すべての生物がこの地球上で持続的に生存できるように、世界の人類は一刻も早くその英知を結集し、「地球人」の「恩送り事業」として温暖化にブレーキをかけなければならないと思います。日本政府はそのトップランナーとして、野心的かつ国際的な温暖化対策を世界に提案して、世界各国をリードしていただきたいと願っています。皆様のご支援と考え方をお聞かせください。

2019年6月吉日

NPO 法人森びとプロジェクト委員会

地球温暖化にブレーキをかけるアンケート

1、地球温暖化は全生物の生存基盤を揺るがす問題だと思いますか。

1、思う 2、思わない 3、わからない

2、気候変動による異常気象が世界各国で頻発・巨大化していますが、その原因は地球温暖化が影響していると思いますか。

1、思う 2、思わない、 3、わからない

3、IPCC「1.5℃特別報告書」では、現在の地球の平均気温が、産業革命前に比べてすでに約1℃上昇していることを確認し、地球温暖化を1.5℃に抑えるためには、世界のCO2排出量が、2010年比で、2030年までに約45%減少し、2050年頃には実質ゼロに至ることが必要であるとしました。日本政府は「2050年に温室効果ガス80%削減」を目標にしていますが、その目標を「実質ゼロ」にすべきだと思いますか。

1、思う 2、思わない 3、わからない

4、温暖化防止には二酸化炭素の排出と吸収のバランスが大切です。排出削減努力ともに、吸収力を高める森づくりが重要だと思いますか。

1、思う 2、思わない 3、わからない

5、皆様にお配りした私たちの「要望書」に賛同してくれますか。

1、賛同する 2、賛同しない 3、どちらでもない 4、分からない

6、賛同できない方にその理由をお聞きします。(その理由を下の番号から選んでください。
その番号に丸印を付けてください)

- ①自然林の伐採禁止、森林の農地転換禁止の国際ルールの確立は必要ではない。
- ②植林可能な砂漠や草原の生態系を衰弱させない植林、各国の水性植物が持続的に二酸化炭素を吸収できる環境づくりは各国に任せればよい。
- ③日本政府の温室効果ガス排出削減目標は、「2050年に温室効果ガス排出80%削減」でよい。
- ④産業界の二酸化炭素排出削減は企業の経営方針に任せるべきである。
- ⑤建築物への日本産木材利用は発注者と受注会社に任せるべきである。
- ⑥自然体験型教育の有無は保護者の意思に任せるべきである。
- ⑦温暖化防止政策は政治家が責任をもってすすめるべきである。

7、地球温暖化に対するご意見をお聞かせください。

(

)

ご協力ありがとうございました。このアンケートは下記へファックスしてください。

★送信先：ファックス番号 03-5692-4900 ★